

学位授与番号：乙 3 1 7 8 号

氏 名：眞鍋 貴子

学位の種類：博士（医学）

学位授与日付：平成 29 年 3 月 8 日

学位論文名：

うつ病再発予防講習会（Depression prevention program:DPP）の臨床有用性

学位審査委員長：教授 宇都宮一典

学位審査委員：教授 岩楯公晴 教授 宮田久嗣

論文要旨

論文提出者名	眞鍋 貴子	指導教授名	中山 和彦
--------	-------	-------	-------

主論文題名：

うつ病再発予防講習会 (Depression prevention program:DPP) の臨床有用性

眞鍋 貴子、古川 はるこ、忽滑谷 和孝、中山 和彦

東京慈恵会医科大学雑誌

平成 28 年 (2016) ; 第 131 巻 : 111-9 頁

【目的と方法】

東京慈恵会医科大学附属病院および附属柏病院では、1994 年より認知行動療法を基盤にうつ病再発予防講習 (Depression prevention program ;DPP) を行ってきた。先行研究では、DPP の再発予防効果が認められていた。今回、症例数が増えたため、DPP の効果の再調査をするとともに、DPP の講習を継続して受講できた患者背景の特徴を調査した。

【結果】

DPP 介入前と比較し、介入直後、1 年後の時点で、Hamilton-Rating depression scale(24) ;HRDS(24), Profile of Mood States ; POMS, Automatic Thoughts questionnaire-Revised ; ATQ-R) において改善が認められた。また、うつ病の再発予防効果については、DPP 介入 2 年後までの再発率は 19.0%と先行研究と比較し低く、長期間の再発予防効果が確認できた。また 8 回の講習を 7 回以上受講できた患者の背景をみると、Temperament and Character Inventory (TCI) の損害回避の因子が高い傾向があり、その下位項目である不確実性に対する恐れと予期懸念が高く、有意差を認めた。

【結語】

今回の調査をとおして DPP の再発予防効果を再確認でき、継続群は、損害回避の因子の評価尺度が高い傾向が認められた。